

## 大会表彰状印刷について (2025.12.10)

ARDFsi・ARDFsprint から出力される 入賞者データ「入賞者.CSV」を利用して表彰状を作成する方法です。ワードの差し込み印刷機能を使います。(ワードの差し込み印刷については、お近くのワードに詳しい方にお聞きください)

### 大会前の事前準備

#### 【1】準備 その１・・・元となる ワードファイルの準備

参考までに新潟で例年使用しているワードファイル「表彰状\_A4\_サンプル.doc」を開きます。このファイルを元に作成手順を説明します。

※ 上記のファイルでは、差し込み項目として「部門」「クラス」「順位」「コール」「氏名」「よみがな」のみ使用していますが、入賞者データには、他に「探査TX数」と「競技時間」も含まれています。必要に応じてアレンジしてください。

	部門	クラス	順位	コール	氏名	時間	TX	よみがな
記載例	総合	M60クラス	6	JFOF*T	佐口 久	1:29:04	4	さ□□ ひさし
	信越地方	W21クラス	5	hiroko	佐口 博子	1:32:25	4	さ□□ ひろこ
使用	○	○	○	○	○	×	×	○



ファイルの内容を見れば一目瞭然ですが、必要事項を修正します。

- ☐ 競技部門 (現在は「クラシック144MHz帯競技」)
- ☐ 大会名 (現在は「20\*6信越地方ARDF競技大会」)
- ☐ 表彰日付 (現在は「令和\*年1月15日」)
- ☐ 大会会長 (現在は信越地方本部長 J\*phi A\*A 信越 太郎)

※ もう一つ、後述の【4】(1)の作業も、ダミーデータ（入賞者.xls）等を利用して、事前に設定・保存しておくことをお勧めします。

## 【2】準備 その2・・・入賞者ファイル「入賞者.CSV」の準備

ARDFsi・ARDFsprint の [メニュー]－[オプション]－[競技内容設定]（下の方の項目）から入賞者ファイルの内容を設定します。

### (1) 総合部門名称

これは通常そのまま「総合」で良いでしょう。

### (2) 地域部門名称

デフォルトは「地域」になっていますが、必要に応じて「新潟県」や「信越地方」などに変更します。この名称が表彰状印刷項目の「部門」に反映されます。

### (3) 出力区分数

デフォルトは「1」になっていますし、ほとんどはコレで良いでしょう（これは例えば新潟県大会のように、総合表彰の他に「新潟県表彰」を出力する場合です）まれに、例えば「信越・関東大会」といったように、総合表彰の他に「信越表彰」と「関東表彰」と2区分表彰する場合は「2」とします。

### (4) 総合入賞者数・地域入賞者数

各クラスの入賞者数を設定します。参考までに全日本大会では、各クラスの参加者によって表彰者人数を下記のように規定しています。

10名以下 ..... 3位 まで

11～30名 ..... 4位 まで

31名以上 ..... 6位 まで

## 大会当日（競技終了後の作業）

## 【3】入賞者ファイル「入賞者.CSV」の修正 → 「入賞者.xls」で保存

競技終了後、ARDFsi・ARDFsprint の [メニュー]－[ファイル]－[結果ファイルの作成]により、大会データフォルダ内に「入賞者.CSV」が出力されます。

CSVファイルは、汎用の表形式ファイルですので、エクセル等の表計算ソフトで読み込むことができます。そのままワードの差し込み印刷用のデータファイルとして活用することもできるのですが、以下の3つの修正を施すことをお勧めします。

修正後は 必ず エクセル形式（\*.xls か \*.xlsx）で保存すること  
（理由は下記の(1)による）

### (1) フォントに無い特殊文字な文字

ARDFsi・ARDFsprint では、内部処理において、汎用のテキストファイルやCSVファイルを使用します。そのため氏名に使われる特殊な文字（例えば「橋」など）は使用できずに「・」や「？」と文字化けしてしまいます。

そのような文字であっても、エクセルでは使用できることが多いので「入賞者.CSV」をエクセルで読み込み、手動で文字を修正します。

※ただし、それをそのまま上書き保存すると「CSVファイルで保存」となり、文字は

再び「・」や「？」に文字化けしてしまいます。それを防ぐために、必ず「エクセル形式で保存」します)

## (2) コールサインについて

ARDFsi・ARDFsprint では、データのキーに「コールサイン」を使用しています。そのためコールサイン・JARL准員番号を持っていない選手は、何か適当なモノ（例えば氏名のアルファベット表記等）を設定しています。

集計結果でも、それがそのまま表示されるのですが、表彰状にはなじまないで、ARDFsi・ARDFsprintでは、入賞者.CSVファイルを出力する際に、あきらかにコールサイン・准員番号ではないものは自動削除されます。が、それは完全ではないため、実際に出力されたファイル内容を確認し、「コールサイン」「JARL准員番号」以外のモノを手動削除します。

表彰状には氏名のみが印刷されますが、印刷位置は「殿」の位置が基準となっていますので、氏名のみでも不自然さはありません。

## (3) 部門について

入賞者.CSV では、「総合」と「地域」と、それぞれで入賞者が出力されます。近年は「総合」のみ表彰を行う大会が多くあります。その場合は1列目の「総合」をすべて削除することをお勧めします。（もちろん残しておいてもかまいません。それは大会運営者の判断です。）

## 【4】表彰状印刷

【1】で準備した表彰状のワードファイルを起動し、差し込み文書でにおいて、【3】で作った「入賞者.xls」を宛先の選択で指定して印刷します。

### (1) 差し込みデータの設定

最初にワードファイルを起動しても（ワードのバージョンによって詳細は違いますが）、差し込みデータファイルが見つからない等のメッセージが現れます。そこで「入賞者.xls」を指定することでデータが反映されます。（詳しい操作方法は、お近くのワードに堪能な方にお聞きください）

またその際に「先頭行をタイトルとして使用する」にチェックしてください。

※ この作業は、大会前に ダミーデータ（入賞者.xls）等 を利用して、事前に設定・保存しておくことをお勧めします。

### (2) 印刷プレビュー（印刷前の確認）

メニューの[差し込み文書]―[結果のプレビュー]を実行することでデータが差し込まれた印刷イメージを確認することができます。◀ ▶ボタンでページを切り替えてすべての選手のものが確認できます。

### (3) 印刷

メニューの[差し込み文書]―[完了と差し込み]―[文書の印刷]で印刷することができます。そのときに現れる[プリンタに差し込み]ウインドの指定により、すべて一括で印刷するか、特定の選手のみを印刷するかが指定できます。

【5】その他 その(1)・・・表彰状の印について

表彰状の印について、それは表彰状の授与者（大会会長）の印となります。例えば、信越地方大会であれば、信越地方本部長ですが、その肩書きがポイントとなります。

表彰状の授与者の肩書きが「JARL信越地方本部長」であれば「信越地方本部長の印」が必要となります。しかし「信越地方大会会長」であれば「信越大会会長の印」でOKとなります。具体的には以下のよな表記となります。

令和＊年〇月〇日

20＊6信越地方ARDF競技大会会長

一般社団法人日本アマチュア無線連盟

信越地方本部長 J＊φA＊A 信越 太郎

このようにすることで、貴重な 印 を持ち出すことなく表彰状発行を行うことができます。（全日本大会についても、2016年の新潟県開催のときに「全日本ARDF競技大会之印」を製作し、それ以降はこの印を使用して表彰状を発行しています）

【6】その他 その(2)・・・実際の押印作業がある場合について

実際に朱肉を使って、会長印を押印する場合、すごく便利なアイテムが「プロッター」です。それは吸取紙が半円状の部分に取り付けてあり、押印した朱肉の上を一転がしするだけで、瞬時に乾いてうつらなくする昔ながらの道具です。



大量に表彰状を印刷する場合、最近のインクジェットプリンタはすぐに乾くものの、朱肉はなかなか乾きません。ティッシュなどを当てても良いのですが、効率的にはプロッターを一転がしするだけでまったく裏移りしなくなります。

印を朱肉を使って押印する際は、作業効率が雲泥の差であり、表彰状作成の最重要アイテムです。

【7】その他 その(3)・・・印鑑ソフトの導入

とは言っても、印鑑の押印作業は表彰状作成では大きな手間となります。それを簡略化するために、カラープリンタで文面と一緒に印刷することもとり入れています。

印影をうまく取り込んで印刷データを作るには、印鑑ソフトが便利です。（PCに堪能な方は、市販ソフトなしで作ることも簡単でしょう）